

商船三井グループ

DXビジョン

～BLUE ACTION 2035 Phase 2～

2026年4月



目次

- 1. 全体概要
 - 1-1. 経営計画におけるDXビジョンの位置づけ
 - 1-2. DXビジョンの概要
 - 1-3. ロードマップ
- 2. DXアクション
 - 2-1. アクションプランの全体像
 - 2-2. マイルストーン・KPI
 - 2-3. アクションプラン詳細

1. 全体概要

Driving Innovation with Digital

先端的なAIとデータ活用を核に、
これまで構築してきたIT・デジタル基盤を更に発展させ、
社会課題の解決と当社グループの持続的成長の両立を実現する
イノベーションを創出します。

デジタルによる業務効率化で生まれた新たな力を価値創造へとつなげ、
さらなる事業変革と新たな価値提供を着実に進めます。

デジタルをイノベーションの駆動力とすることで、
グローバルに成長する強くしなやかな企業グループを目指します。

商船三井グループ DXビジョン

1-1 経営計画におけるDXビジョンの位置づけ

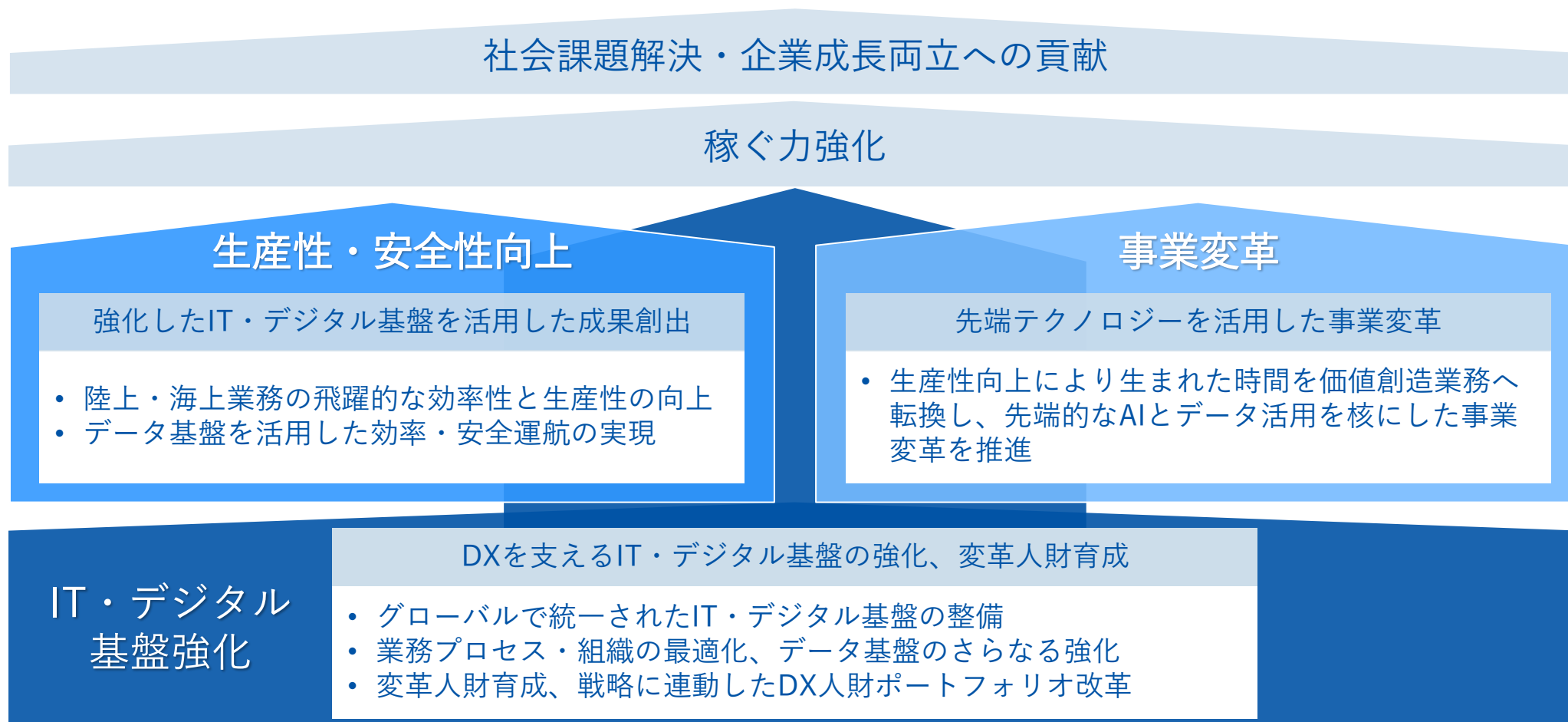
- 経営計画「BLUE ACTION 2035」Phase 2 では、サステナビリティ課題（マテリアリティ）を「環境」「安全」「人財」「DX」と特定し、経営基盤を強化するための取り組みと位置づけています。
- DXビジョンは、サステナビリティ課題の「DX」に紐づく基本方針であり、課題の解決に向けたKPI・アクションはDXビジョン・アクションで設定・推進します。

経済価値と社会価値について

当社グループは経済価値と社会価値の双方を創出することで企業価値を高めていく。主要戦略と経営基盤の強化により、稼ぐ力を磨き上げるとともに、事業を通じて「暮らしと産業を支えるインフラの提供」「持続可能な海洋・地球環境の実現」「ウェルビーイングの向上」に貢献し、あらゆるステークホルダーの皆様に選ばれる企業を目指す。

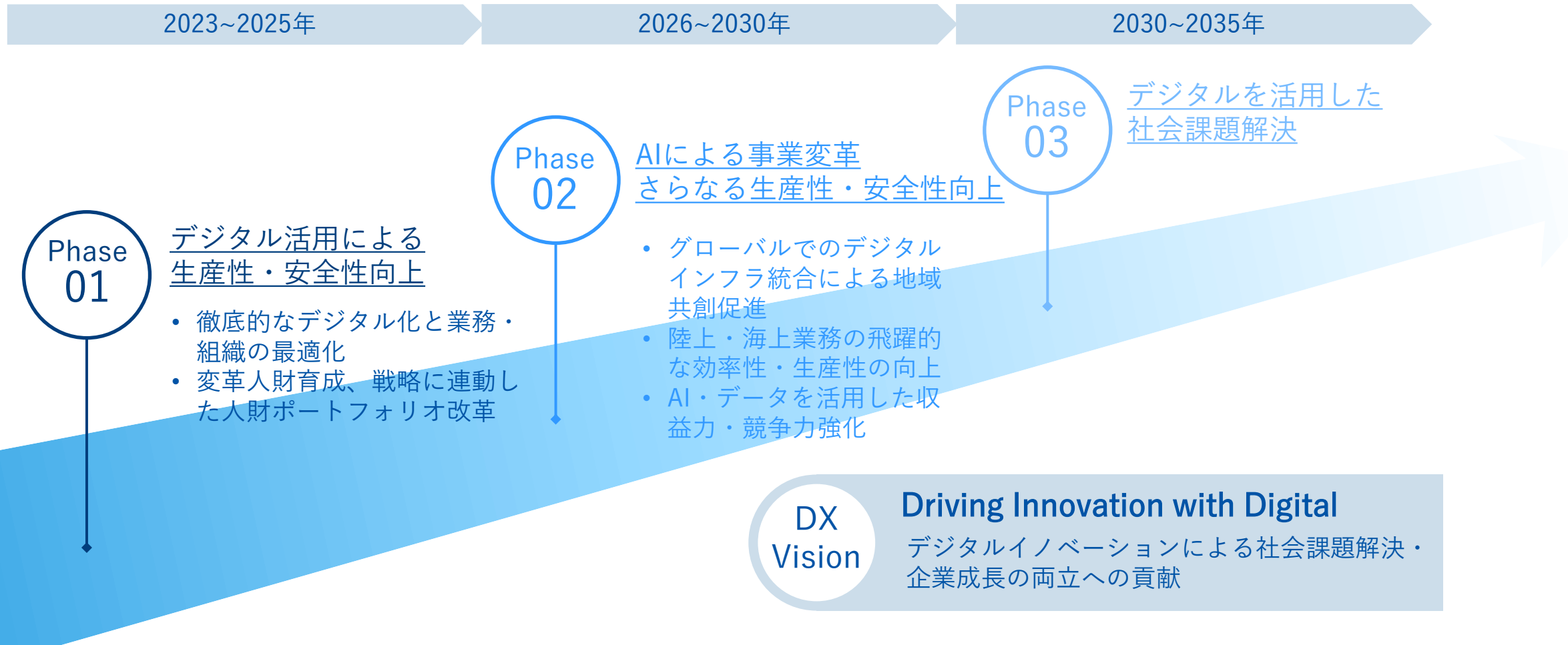


DXの基盤となるIT・デジタル基盤強化、変革人財育成を行い、その基盤を活用して生産性・安全性向上、および、先端的なAIやデータ活用による事業変革を進めることで、稼ぐ力強化・社会課題解決へ貢献します。



1-3 ロードマップ

デジタル基盤を整備・活用し、生産性・安全性向上および事業変革を行うことで、経営計画の実現および各マテリアリティの対応に貢献することで社会課題解決との両立を目指します。

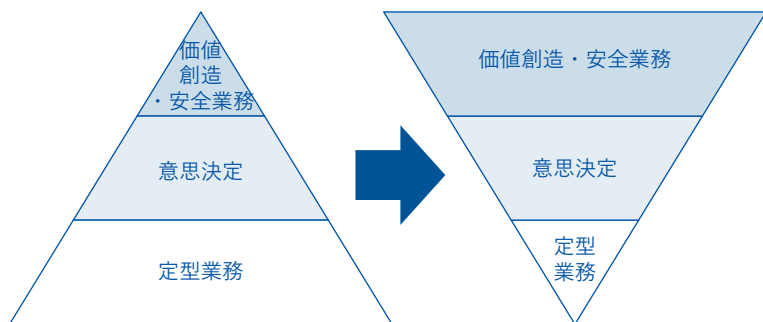


1-3 ロードマップー 効率化から事業変革へー

- Phase 1では、変革に向けた基盤整備、およびその基盤を活用した効率性・安全性向上を中心に進めてきました。
- Phase 2では、これまでに整備した基盤をグローバルに拡大し、AI×経営・事業プロセス×データを核として、効率化に留まらない「稼ぐ力」と「競争力」を高める“AIによる事業変革”を推進します。

Phase 1

デジタル活用による効率性・安全性向上

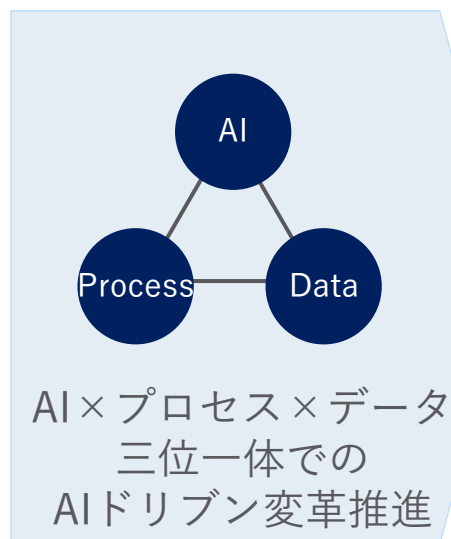


生産性向上により、定型業務を
価値創造・安全業務に転換

徹底的なデジタル化と
業務・組織の最適化の推進

Phase 2

AIによる事業変革、さらなる生産性・安全性向上



経営・事業運営へのAI活用の最大化
海上デジタル・グローバル共創の強化

各種戦略の実現に貢献

ポートフォリオ

環境

HC

地域戦略

安全

- ✓ AI・データを活用した市況分析、事業判断支援、運航最適化による収益力向上
- ✓ 本社ー地域間のデータ共創でグローバルネットワークの価値最大化
- ✓ 人とAIの共存による人財再配置
・・・

2. DXアクション

経営計画実現のための戦略施策として、Phase2では3つの主要アクションで「稼ぐ力」と「競争力」の向上を目指します。

グループビジョン実現、経営計画遂行に貢献

DX Vision “Driving Innovation with Digital”

IT・デジタル
基盤

生産性・
安全性

事業変革

▶ 収益力向上、社会課題解決・企業成長の両立への貢献

DX Action — Phase 2 — 経営・事業運営へのAI活用の最大化、海上デジタル・グローバル共創の強化

AIドリブン変革

✓ AIを活用し、経営判断から業務までを見直すことで、単なる効率化に留まらない「稼ぐ力」と「競争力」の向上

海上デジタル

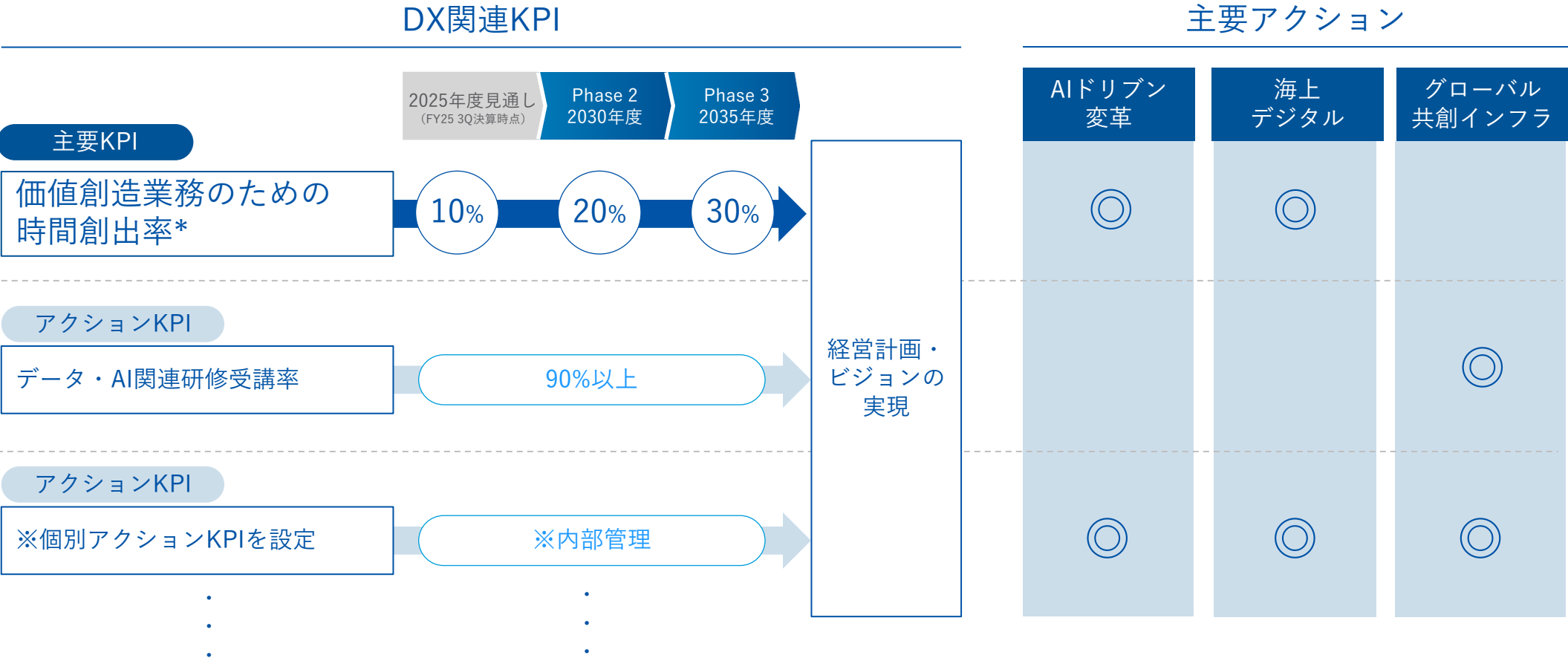
✓ 船上業務を「見える」「つながる」状態にし、効率運航・安全性・安定操業・環境価値を同時に高め、競争力の源泉を確立

グローバル
共創インフラ

✓ グローバルで「同じデータ・同じ仕組み」を使い、地域・事業を越えたスピードある経営と共創の実現

2-2 マイルストーン・KPI

- 経営計画および各種ビジョンの実現に向けて、持続的な変革を目指すためのKPIを設定しています。
- 各施策においては、DXによる価値貢献領域を明確にした上で、個別にアクションKPIを設定して事業部門との共創を推進しています。



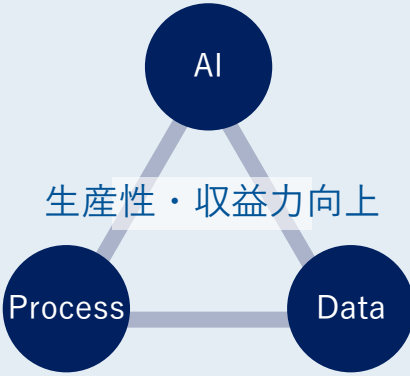
2-3 アクションプラン詳細 – AIドリブン変革 –

業務プロセス標準化およびデータ利活用を深化させるとともに、AIを活用したスピーディーで確度の高い経営・事業判断への転換、業務・人財活用の再設計等によって、AIドリブンであらゆる業務領域での変革を実現していきます。

AIドリブン変革の目指す姿

■ 基本方針

「AI×プロセス×データ」
三位一体でのAIドリブン
変革推進



■ あらゆる業務領域でのAI-nativeな業務変革



■ 変革を支えるAI-readyなデータプラットフォーム



✓ データ整備・利活用により変革の駆動力を強化

アクションプラン

AIによる経営判断高度化、
業務・人財活用の再設計

- ✓ 経営・事業判断高度化
- ✓ 部門横断プロセス再設計
- ✓ 共通・標準業務自動化

変革人財と組織の再構築

- ✓ 変革人財育成、事業部門
への人財配置・共創強化

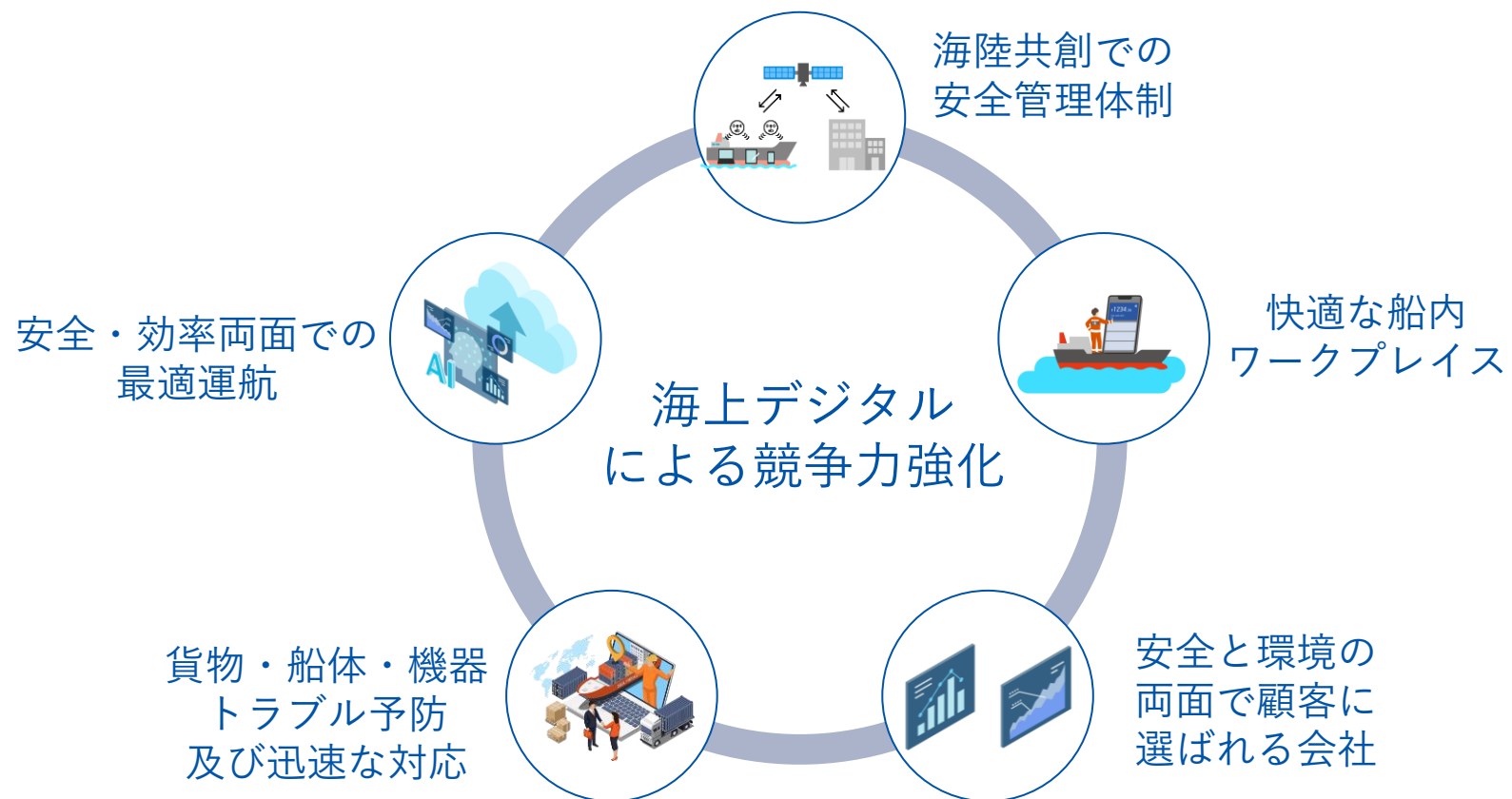
データ利活用深度化

- ✓ データ基盤整備・利活用
- ✓ データ品質管理・ガバナンス

2-3 アクションプラン詳細 — 海上デジタル —

低軌道衛星導入による海上通信環境の劇的な改善など、デジタル・DX化に向けたIT基盤整備を継続するとともに、AI・データ活用により海上業務のデジタル化・DXを加速させていきます。

海上デジタルの目指す姿



アクションプラン

船上業務を支える
IT環境の標準化・安定化

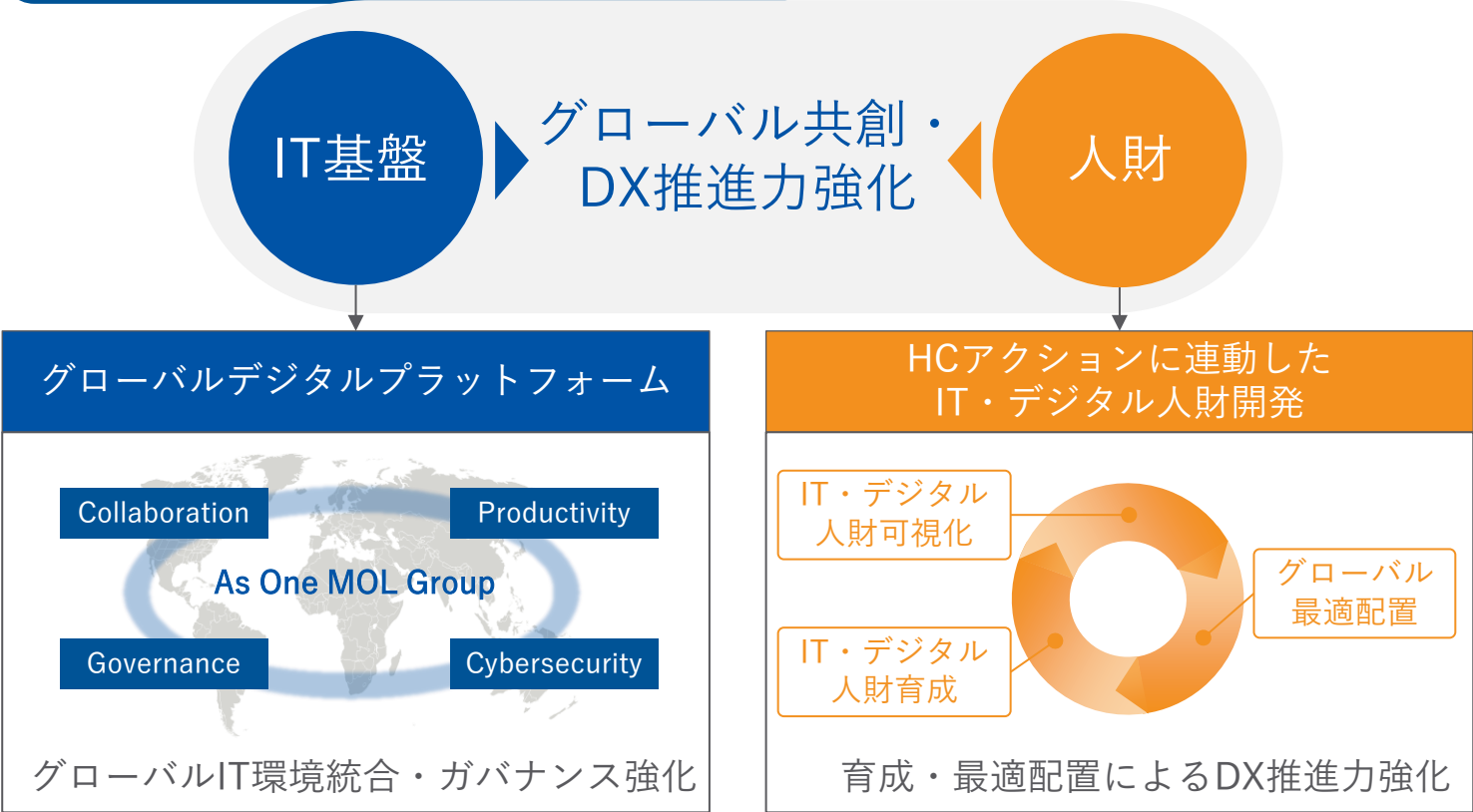
運航・保全における
判断精度の向上

海上データを活用した
新たな価値創出

2-3 アクションプラン詳細ーグローバル共創インフラー

グローバル全体での業務・IT基盤統合により、コラボレーション、生産性、ガバナンス、セキュリティを強化するとともに、IT・デジタル人財育成およびグローバルでの最適配置を戦略的に進め、IT基盤・人財の両輪でグローバル共創、DX推進力を強化します。

グローバル共創インフラの目指す姿



アクションプラン

- グローバル共通の業務基盤・IT基盤の確立
- IT投資と意思決定の全社統制強化
- サービス価値追求のための業務プロセス・仕組構築と事業部との共創
- グローバルで活躍するIT・デジタル人財の戦略的育成・配置

